

食物アレルギーへの緊急時対応 体験型出前セミナーを開催しました

6月1日に、仙台市旭ヶ丘児童館において食物アレルギーへの緊急時対応体験型出前セミナーを開催しました。本セミナーは、食物アレルギーに関する講義や、エピペン®トレーナーを用いた実技、緊急時を想定したロールプレイなどを通して食物アレルギーへの緊急時対応を学ぶことができる内容で、開催を希望する学校や保育施設に講師が出向いて指導を行っています。講師は、東北地区小児アレルギーケア研究会に所属する小児アレルギーエデュケーター（PAE）の資格を持つコメディカルスタッフが務めています。

今回開催した施設が小学校併設の児童館ということで、座学では主に児童期に起こりうる食物アレルギーの種類について講師よりお話しいただきました。また、食物アレルギー反応は様々な症状があるため、普段と様子が違うことにいち早く気付くためには保護者との情報共有が大切であることもお話しいただきました。

また、参加者はエピペン®を打つ必要がある緊急性の高い症状についても学び、実技ではエピペン®トレーナーを用いて打つ部位や注意点を参加者全員で確認しながら実際に打つ練習を行いました。練習では落ち着いてできるかもしれないが、実際にエピペン®を使用するとなった場合は、打つ本人も慌てているし不安な気持ちでいるので、周囲の声掛けや手順を確認する人も重要な役割であると、講師より助言を受けながら繰り返し確認しました。

最後にまとめとして、参加者は5名1グループにわかれ、座位や横臥位など様々な体勢でも正しくエピペン®を打つことができるよう互いに確認し合いました。

本セミナーは宮城県内の学校・保育施設に出向いて開催しており、随時開催希望を募っています。まずはお気軽にご相談ください。

